

卒業式 答辞

冬の寒さも和らぎ、吹く風にも春の訪れを感じる季節となりました。この良き日に、私たちのためにすばらしい式を挙げていただき、ありがとうございます。また、お忙しい中ご臨席いただいた来賓の皆様や先生方に、卒業生一同心より御礼申し上げます。

三年前、私たちは中学校を卒業し、不安や希望を胸にこの敬愛学園高校に入学しました。しかし、新型コロナウイルスの影響で入学式をはじめ様々な行事が中止、または規模を縮小した形での開催となりました。今まで思い通りにいかないことが多く、苦勞の多い三年間でした。ですが、それ以上に楽しい思い出もたくさんあります。互いに競い合った球技大会や体育祭、仲間との絆をより深めることのできた東京デイズニーシー、クラスの仲間と協力して作り上げた文化祭、どれも制限はあったものの楽しかった大切な思い出です。このコロナ禍での経験は私たちにとって、他の人にはない唯一無二の武器となるでしょう。私はこの三年間様々なことに挑戦してきました。その中で一番大きな挑戦は生徒会長になったことです。会長として皆をまとめることは上手いかなことが多く、初めは目の前のことで手一杯になってしまい、他の部分でミスをしてしまうことがありました。しかし、その分多くの経験を積むことができ、そばで支えてくれている仲間の大切さを改めて実感することができました。

また、私たちは今までたくさんの人たちに支えられてきました。共に成長してきた仲間たち、私たちを成長させてくださった先生方や先輩方、そしてこの十八年間そばで支えてくれた両親がいます。私たちが今この場にいることができるのは今まで支えてくれた人たちのおかげです。本当にありがとうございました。皆さんは今年の漢字を覚えていますか？今年の漢字は『戦』です。これだけ聞くと暗いイメージをする方が多いと思います。実際に、ロシアのウクライナ侵攻や北朝鮮のミサイルが、日本の上空を横切るなど戦争を意識する機会も多くありました。特にロシアによるウクライナ侵攻では理不尽な理由で多くの人々が被害に遭いました。次は私たちも狙われてしまうのではないかという恐怖を実感することもありました。しかし、暗い話題だけではなく、サッカーワールドカップでの熱戦などの明るい話題もあります。このように明るい話題があれば多くの暗い話題もあります。しかし、皆さんの人生を明るくするのは皆さん自身です。

私たちはこれから別々の道を歩んでいきます。その先で大きな壁に道を阻まれることもあるでしょう。しかし、どんな困難が待ち受けていようとも、この敬愛学園高校での学びや経験が必ず役に立つと信じています。何事にも最後まであきらめず、挑『戦』する心を忘れずに明るい未来に向け羽ばたいていきたいと思っています。

最後になりましたが、敬愛学園高校の更なる発展を心より祈念し、当時とさせていただきます。

令和五年三月一日

卒業生代表 田中 陸翔